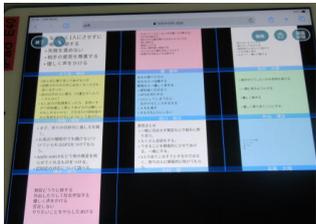


ICT:ロイロノート活用における授業実践

京都府立洛北高等学校 教諭 竝川幸子

教科(科目)	家庭基礎
題材	高齢期の生活「認知症を考えるーいつまでも地域で暮らし続けるために」
題材計画	<ol style="list-style-type: none"> シニア体験を行い、高齢者の身になって日常生活や社会生活における問題点や課題について考える。 認知症高齢者について知り、自分たちにできること等について考える。(本時) 冬休み中に高齢者へのインタビュー(聞き取り調査)を行い、現状等を把握する。
本時の目標	認知症に係る講演を視聴し、認知症について医学的知見等から知ると共に、認知症の様な高齢者を見かけたときにどのような行動がとれるか、あるいは身内に認知症の方がいたときどういった対応をするか協議する。
講師	居宅介護事業所向日葵 管理者・看護師 小林かえ氏 京都市左京北地域包括支援センター 本嶋玲子センター長 社会福祉士 大西謙氏
ロイロノート活用のポイント	グループで話し合った意見・内容をまとめ、ロイロノートの提出箱に提出させる。iPadとプロジェクターを繋ぎ、生徒のまとめた内容をスクリーンで確認する。これにより、各グループの意見等を生徒及び講師らと共有することができる。加えて、生徒のまとめた意見等について講師からコメントしてもらう。こうして、互いに意見等について確認すると共に、その内容等について理解を深めることができる。

授業の展開	<p>※休憩時間に座席及びグループのメンバーを家庭科係が発表する。その時には、代表者は特に決めない。</p> <p>導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時のねらい及び学習内容について確認する。 ○授業の中でグループ討議することと、iPadの持参を予告していたことを確認する。 ○講師の紹介をする。 <p>展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ○認知症について医学的知見から説明する。 ○地域における認知症高齢者を支える取り組みについて説明する。 (介護保険制度とサービス、地域包括ケアシステム等の内容も含む。) ○フレイルとその対策について説明する。 ○及びグループ討議をさせる。 DVD「二本の傘」を視聴後、自分が配偶者の立場ならどういった対応をするか考え、グループで討議する。 ○グループの意見を記載し、提出箱へ提出させる。 <p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○発表内容についてコメントを加える。 ○ワークシートとアンケートを回収する。 	<p>[グループの確認]</p>  <p>[DVD「二本の傘」視聴]</p>  <p>[グループで討議]</p>  <p>[提出箱に寄せられた意見]</p>  <p>[1つの意見をスクリーンに映し、画面を共有→講師からコメント]</p> 
	<p>成果と課題</p> <p>グループ討議やクラス全体での意見共有によって、みんながどのような意見や考えをもっているかがよくわかり、よかったという意見が多かった。スクリーン(大きな画面上)での意見投影は大変見やすく、より理解や把握に繋げることができた。</p> <p>グループによって、ロイロノートの提出箱への提出に時間的な差が生じ、講師からのコメントを授業時間内に終えることができなかったクラスがあった。これが今後の課題となる。</p>	

ロイノートを活用した授業の工夫

DVD「二本の傘」を視聴し、討議後グループの意見や感想をまとめて打ち込み（様式自由）、ロイノートの提出箱へ提出する。それを教師がスクリーンに映し出し、各グループの意見を共有。併せて、講師から各グループの意見に対してコメントをもらい、本時間に学習したことをまとめ振り返る。

討議のテーマ:「自分が配偶者の立場ならどのような対応をするか、どのようなことができるか」

手順①

予めロイノートにクラス毎の提出箱を作っておく



教師は、生徒の討議中に設定を（講師の方々には机間巡視を依頼）

手順②

タブレットとiPadを接続する



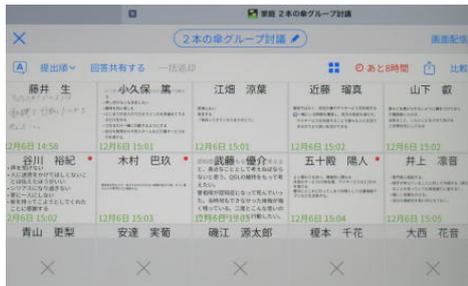
手順③

生徒のグループ代表者が意見等を打ち込み、提出箱へ提出する



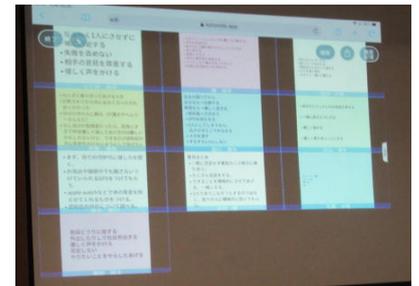
手順④

10グループの意見が出揃うのを確認する（代表者も確認できる）



手順⑤

比較→選択→比較開始ボタンを押し、各グループの意見をスクリーンに映し出す



手順⑥

提出された意見を1グループずつ、スクリーンに映す

よく関わりを持つ、積極的に関わる外部のサービス(行政支援、デイサービスなど)の力を借りる
勝手にどこかに行ってしまう対策として位置情報アプリなどを活用する。



講師からコメントをもらう

今回の取り組みにおける生徒の感想

- ・他教科では、ペアワークはあってもグループワークはやったことがないので、他の人たちの意見を色々聞くことができよかった。
- ・それぞれの解答を映すことはあっても、グループとしてまとめたものを提出し、コメントを貰うのは初めてで新鮮だった。

講師の方の感想

- ・これまでは、手を挙げての発言だったので数名の意見しか聞けなかったが、今回は生徒皆さんの意見を聞くことができ、勉強になった。
- ・認知症の方の徘徊について、位置情報アプリを活用するという意見がいくつもあり、「今時の意見だな」と、参考になった。

教師の感想

今年度「家庭基礎」を5クラス担当。iPadの活用と併せて、コロナ禍が若干落ち着いてきたので、グループ討議を行った。グループによっては、文字画面を色つきにしており（様式は自由）、その色も場合によっては高齢者や認知症の方に有効（寄り添う一つの方法）であることも含めて伝えることができた。

